

## 木材使用状況調査（様式1-1：道営分・公共建築物）記載要領

### 1 調査対象

道（教育庁、道警本部を含む）が発注し、調査対象年度に竣工した事業のうち、「建築物及び構造物」の工事全て（外構工事を含む）を対象とします。木材を利用する工事のみならず、木材を利用しない工事についても対象となります。

### 2 記載方法

#### （1）留意事項

- ① 調査票は、統一様式による集計のため、シートをロックし、着色部のみ入力可能としています。ロックは解除しないでください。
- ② 工事の際の仮設物等で使用した木材の数量についても把握可能な限り記載してください。
- ③ 木材を利用していない非木造建築・非内装木質化施設についても、「事業概要」欄は記載願います。

#### （2）「事業概要」欄について

- ① 施設別の木材使用量がわかるよう、工事名（契約単位等）ごとに記入してください。
- ② 「構造」はプルダウンリストから選択してください。なお、内装木質化のみの場合は、当該施設の構造を、外構工事のみの場合は空欄とし、備考欄にその旨記載願います。
- ③ 「地上階数（階）」、「延べ床面積（㎡）」は単位を省略し、数値のみ記入してください。なお、内装木質化のみの場合は、当該施設の階数、延べ床面積を記載し、外構工事または解体工事のみの場合は空欄とし、備考欄にその旨記載願います。
- ④ 「工事種別」欄は、プルダウンリストから選択してください。

#### （3）「使用量」の記入について

- ① 各事業の木材使用量を「樹種」、「区分」の該当する欄に、小数第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。（数値は自動的に小数第2位で四捨五入されます。）
- ② 使用量は、「全体」と「うち道産材」の区別があります。「全体」には使用量全体を記入し、そのうち北海道内の森林で産出され、道内で加工された木材の数量を「うち道産材」欄に記入してください。※道産材の把握が困難な場合は、全体使用量のみ記載の上、備考欄にその旨記載してください。
- ③ どの区分にも当てはまらない資材がある場合は、「その他」に記入するとともに、備考欄にその内容を必ず記載してください。（単位が $m^3$ 、 $m^2$ で表記できない場合は、備考欄に内容・数量を任意の単位で記載してください。）  
また、可能な限り、樹種不明欄は使用しないでください。